

平成27年度 事業報告

目 次

◎ 平成 27 年度外国人旅行者の概況

◎ 事業実施状況

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

- (1) 観光マーケティング事業
- (2) 東京ブランドの推進事業
- (3) オリンピックを契機とした東京観光 P R
- (4) 東京観光レップの運営
- (5) 民間事業者と連携した旅行者誘致事業
- (6) 有望市場におけるプロモーション事業
- (7) 東京・東北地域の連携による外国人旅行者誘致事業
- (8) ビジット・ジャパン (VJ) 地方連携事業
- (9) 海外青少年の教育旅行受入促進事業
- (10) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大等

2 コンベンション誘致に関する事業

- (1) ビジネスイベントのマーケティング調査・分析等業務
- (2) 国際会議誘致・開催支援事業
- (3) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業
- (4) ビジネスイベント情報発信
- (5) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築
- (6) ユニークベニューの利用促進プログラムの提供
- (7) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業
- (8) 東京における MICE のセールスのあり方に関する調査
- (9) MICE 専門人材育成事業

3 地域の観光振興に関する事業

- (1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興
- (2) 東京シティガイド検定の実施
- (3) 東京ロケーションボックスの運営
- (4) 被災地応援ツアー事業
- (5) 観光資源商品化支援事業
- (6) 受入環境インフラの整備

4 観光情報の発信に関する事業

- (1) 東京の観光情報発信に関する事業
- (2) TCVB 活動の広報に関する事業

5 会報発行事業

(1) 会報等の発行

II 収益事業

1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

2 ガイドマップ等の販売事業

3 東京シティガイド検定 公式テキスト・過去問題等の販売事業

III その他事業

1 委員会の開催

2 会員情報交換会の開催

平成 27 年 度 事 業 報 告

◎ 外国人旅行者の概況

日本政府観光局（JNTO）統計によると、平成 27 年の訪日外国人旅行者数は 1,973 万 7 千人で、過去最高であった前年の 1,341 万 3 千人を 600 万人余り上回り、1970 年以來 45 年ぶりに訪日外国人旅行者数が出国日本人数を上回った。今年 3 月には、初めて単月で 200 万人を超えるなど、引き続き、好調に推移している。

また東京都の調査によれば、平成 27 年の訪都外国人旅行者数は 1,189 万人で、年間で初めて 1,000 万人を突破し、この 10 年間で約 2.6 倍に増加した。

◎ 事業実施状況

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

(1) 観光マーケティング事業 <東京都受託事業>

訪都外国人旅行者誘致の効果について、19 市場（欧米豪、東アジア、東南アジア）において成果指標 KPI（Key Performance Indicator）を活用して、今後の効果的なプロモーションに向けて、調査・分析を行った。あわせて、平成 26 年度観光プロモーションを実施した成長開拓市場（ベトナム・インドネシア）において、その効果検証を行った。

(2) 東京ブランドの推進事業 <東京都受託事業>

旅行地としての東京を強く印象づける「東京ブランド」を確立していくため、東京ブランドを国内外に向けて広く PR し、東京ブランドの浸透を図った。

ア 東京ブランドの発信

東京ブランドを国内外に向けて PR していくためブランド管理体制を構築するとともに、東京ブランド WEB サイトを運営し、情報発信及びブランドの浸透を図った。また、民間事業者等と連携した東京ブランドに関する企画商品開発に取り組んだ。

イ 都民向けイベント及び広告展開等の実施

「HALLOWEEN & TOKYO」や「FOOD & TOKYO」など都民向けイベントを実施するとともに東京ブランドに関する交通広告等を実施した。また、ツーリズム EXPO ジャパン、東京国際映画祭等の国内イベントを活用した PR も実施した。

(3) オリンピックを契機とした東京観光 PR <東京都受託事業>

オリンピック・パラリンピック開催決定の機会を捉え、観光目的地としての東京の認知度を更に向上させるため、オンライン広告の掲出やテレビ CM の放映等を実施し、海外の一般市民に対

して、東京の魅力を効果的にPRした。

ア オンライン広告

Google、Youtube等を活用したオンライン広告の実施、およびトリップアドバイザーと連携した特設サイトを構築し、東京ブランドのPRを実施した。

イ テレビCMの放映等

CNN 及びアジア主要テレビ局のネットワークを利用し、世界において東京ブランドのテレビCMを放映した。

(4) 東京観光レップの運営 <東京都受託事業>

北米4都市（ロサンゼルス・サンフランシスコ・ニューヨーク・トロント）、欧州5都市（ロンドン・ミュンヘン・ミラノ・マドリード・パリ）、豪州1都市（シドニー）に加え、新たにアジア2都市（北京・ソウル）に東京観光レップを設置し、メディア及び現地旅行事業者に対するセールス活動や情報提供等を行った。また、全レップを東京に一堂に集め、東京の観光事業者向けに、海外市場セミナー及び市場別相談会を1回開催した。（平成27年6月3日）

(5) 民間事業者と連携した旅行者誘致事業 <東京都負担金事業>

ア 旅行博等への出展等

民間事業者等と連携して、アジアでは中国、韓国、台湾、香港、タイ及びマレーシアに、欧米では、イギリス、ドイツ、スペイン、アメリカ、フランス及びオーストラリアの国際旅行博覧会等に出展し、東京観光情報の提供及びPRを行った。また、一部の地域では、旅行博等の実施時期に合わせて、セールスコールやセミナーも実施した。

- ・中国 北京国際旅游博覧会出展・セールスコール（平成27年6月25日～27日）
- ・韓国 ハナツアー旅行博覧会（ソウル）出展（平成27年6月5日～7日）
- ・台湾 高雄国際旅行展覧会出展・セールスコール（平成27年5月15日～18日）
- ・香港 香港国際旅游展覧会出展（平成27年6月11日～14日）
- ・タイ TITF 出展・セールスコール（平成28年2月17日～21日）
- ・マレーシア MATTA 出展・セールスコール（平成28年3月9日～13日）
- ・イギリス WTM London 出展（平成27年11月2日～5日）
- ・ドイツ ITB Berlin 出展（平成28年3月9日～3月13日）
- ・スペイン FITUR 出展（平成28年1月20日～24日）
- ・アメリカ Los Angeles Travel & Adventure Show（ロサンゼルス）レップ出展（平成28年2月27、28日）
Japan Week（ニューヨーク）レップ出展（平成28年3月10日～12日）
J Pop Summit（サンフランシスコ）レップ出展（平成27年8月8、9日）
- ・フランス MAP（パリ）レップ出展（平成28年3月17日～20日）
- ・オーストラリア Travel Expo Sydney（シドニー）レップ出展（平成28年1月30、31日）

イ 民間企業とのジョイントプロモーション

アジア及び欧米豪地域において、現地一般市民等に対し東京の魅力をPRするため、民間事業者との共同によるジョイントプロモーションを実施した。

- ・連携企業 株式会社良品計画
- ・内容 MUJIの台北及びニューヨークの旗艦店舗でのインスタレーション
- ・期間 台北 平成28年3月5日～13日
ニューヨーク 平成28年3月19日～4月24日（予定）

ウ パンフレットの制作

欧米豪地域、中国、韓国及び台湾の一般市民や海外旅行事業者等を対象としたパンフレットを制作するほか、ムスリム旅行者向けのパンフレットを制作し、旅行博等で配布した。

- ・アジア向け（簡体字、繁体字、韓国語）
- ・ムスリム向け（英語）
- ・欧米向け（英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語）

エ 東京ニュース（Tokyo Monthly）の配信

欧米豪地域のメディアや旅行事業者を主な対象として、東京の最新ニュース等を定期的に配信した。

（年間 12 回、各月）

オ リテラーセミナーの実施

欧米豪地域において、リテラー（販売事業者）等を集め、東京の魅力や最新情報を伝えるセミナーを開催した。（一部レップによる）

- ・セミナー実施件数：15 件

カ 海外メディア招聘

海外から東京に取材に来る新聞、雑誌、テレビ等のメディアに対して、情報提供等サポートを行い、東京の魅力的な記事や映像の作成を働きかけた。

- ・メディア招聘件数：44 件（イギリス、フランス、中国、タイ等）

キ 海外旅行事業者招聘

訪都旅行商品の造成や販売の促進を図るため、レップ設置国の旅行事業者を招聘・サポートし、東京の魅力を PR した。

- ・旅行事業者招聘件数：19 件

(6) 有望市場におけるプロモーション事業 <東京都受託事業>

ア フィリピンにおける観光プロモーション

訪日旅行者数の更なる増加が期待できるフィリピンにおいて、旅行事業者・メディアなどを対象に、商談会や観光セミナーを実施した。

- ・都内事業者参加社数：30 社
- ・現地メディア集客：27 社
- ・現地旅行会社集客：76 社

イ ベトナム、インドネシアにおけるフォローアッププロモーション

平成 25 年度及び 26 年度に観光プロモーションを実施した、ベトナム及びインドネシアにおいて、現地旅行博等に出展するとともに、観光セミナーを実施した。また、東京への旅行商品造成に意欲的な現地旅行事業者を招聘し、東京の観光魅力を体験してもらうとともに、都内事業者等との商談会を開催した。

- ・ベトナム ITE HCMC 2015 出展（平成 27 年 9 月 10 日～12 日）
東京観光セミナー開催（平成 27 年 9 月 14 日）
- ・インドネシア Garuda Indonesia Travel Fair 出展（平成 27 年 9 月 25 日～27 日）
東京観光セミナー開催（平成 27 年 9 月 28 日）
- ・現地旅行事業者招聘：12 社 12 名（ベトナム 6 社、インドネシア 6 社）
平成 27 年 11 月 16 日（月）～20 日（金）

(7) 東京・東北地域の連携による外国人旅行者誘致事業 <東京都負担金事業>

東北6県・仙台市及び航空・鉄道事業者と連携し、各地域の強みを生かした東京を基点とする観光ルートの設定、共同招聘旅行及びメディアを活用した情報発信を行い、多様な訪日旅行の新たな魅力を海外に向けて広く発信した。

ア 観光スポット等の選定及び観光ルートの設定

都内から東北6県（青森県、岩手県、宮城県、福島県、山形県、秋田県）及び仙台市の各ルートを外国人個人旅行者が公共交通機関を利用して旅行できる魅力的なルートとスポットを選定し、観光ルート7ルートを設定した。

イ 観光ルートを用いた共同招聘旅行の実施

ターゲット対象国を各自治体の意向を基に決定し、対象国の外国人に発信力と影響力のある海外在住外国人及び在京外国人を選定し、招聘旅行を実施した。

ウ 多様なメディアを活用した観光スポット、観光ルート及び交通利便性等の情報発信

- ・ TOHOKU&TOKYO サイトの新設 <http://www.tohokuandtokyo.org>
- ・ 被招聘者による情報発信
- ・ オンライン広告の実施

(8) ビジット・ジャパン (VJ) 地方連携事業

首都圏を訪れる訪日旅行者を増やし、かつ回遊性を高めて域内に長く滞在してもらうため、首都圏各地域及び交通機関等の民間事業者と連携して、広域観光マップの制作やブロッガー・メディア等を招聘して動画制作・配信等を行い、「Greater Tokyo」としての魅力を訴求した。

- ・ マップ言語： 英語、簡体字、繁体字、タイ語
- ・ 動画作成の被招聘者： シンガポール、タイ、台湾から各1名

(9) 海外青少年の教育旅行受入促進事業 <東京都受託事業>

都内の学校関係者への学校交流受入説明会の開催をはじめ、受入窓口の運営を行い、海外青少年の教育旅行の受入を促進した。また、有望市場で実施される商談会等に参加し、現地教育関係者や旅行事業者へPRを行った。

ア 受入意識調査の実施（回答数 216 件（高校、教育委員会））

イ 都内学校関係者への学校交流受入説明会の実施（2回）

ウ 個別説明の実施（10校）

エ 学校交流の実施・支援（30校）

オ 「平成27年度台湾における訪日教育旅行促進事業 現地説明会」参加
（平成27年6月23日～6月25日）

(10) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大等

ア ニュースレターの発行

中国、韓国、台湾、香港、東南アジア等へ旅行博やセールスコール等で交流のあった現地旅行事業者やメディア等へ年4回東京の最新情報を発信した。

イ TCVB ワークショップの開催

市場の枠にとらわれず、訪都・訪日旅行の促進、観光業界内のネットワーク強化及び情報・知

見等の共有を図るため、年3回開催した。

<第1回>

日時：平成27年7月28日

内容：講演

① 「画像ブックマークアプリ Pinterest の活用方法：国内での有効活用からインバウンドまで」

② 「写真の効果的な使い方」

講師：

① 定国 直樹氏（ピンタレスト・ジャパン株式会社代表取締役社長）

② キエルト・ドウイツ氏（フリージャーナリスト・カメラマン）

参加人数：33社44名

<第2回>

日時：平成28年3月2日

内容：講演「コミケ」に増え続ける外国人参加者—オタクは東京を目指す

講師：

里見直紀氏（有限会社コミケット企画広報室長

東京工業大学大学院社会理工学研究科非常勤講師）

兼光ダニエル真氏（翻訳家）

参加人数：30社42名

<第3回>

日時：平成28年3月25日

内容：変わる旅のスタイル；旅（インバウンド）の未来を考える

講師：

① 鶴本浩司氏（トラベルボイス株式会社 代表取締役社長 CEO）

② 石田言行氏（株式会社 trippiece CEO）

③ 大日方 由美氏（JFG 通訳ガイド）

参加人数：30社36名

ウ 各種セミナー・商談会等への参加

JNTO等が実施するセミナーや商談会等へ参加し、市場動向の把握や現地でのネットワーク拡大等を図った。

2 コンベンション誘致に関する事業

○ 東京開催コンベンションの実績

① 国内基準（「2014年国際会議統計」日本政府観光局（JNTO）データ）

会議開催件数 565件

国内都市別順位 1位

② 国際基準（「国際団体連合（UIA）統計2014」）

会議開催件数 228件

国際都市別順位 6位

(1) ビジネスイベントのマーケティング調査・分析等業務<東京都受託事業>

ア 見本市・展示会等のマーケティング調査・分析

見本市・展示会等について、主催者や展示会参加者の調査・分析、東京のSWOT分析等を実施し、東京における展示会支援及び国際イベント誘致の戦略モデルを構築するための情報収集を行った。

イ KPIによる効果測定(企業系ビジネスイベント、国際会議)

企業系ビジネスイベント及び国際会議の具体的施策を測定するために設定されたKPIについて、測定を行った。

(2) 国際会議誘致・開催支援事業<一部東京都受託事業>

ア 国際会議誘致支援

① 誘致マーケティング活動

・開催意向調査の実施

国内の学会・協会事務局及び東京近郊の大学キーパーソン2,915人に対し、開催意向調査を実施した。

・会議主催者への誘致活動

開催の可能性のある国際会議の国内対応団体等に対し、コンベンション開催に必要な情報(会議施設、宿泊施設、アフターコンベンション情報、支援策等)を積極的に提供し、東京への誘致に努めた。

・国内見本市への共同出展

東京国際フォーラムで開催された「第25回 International Meeting Expo (IME) 2015」(平成27年12月9日~10日)において、民間事業者7社と共同出展を行うとともに、15社が資料参加した。

・国内都市選定時の誘致活動

国内都市選定の際に、「コンベンション都市・東京」の優位性をアピールしたプロポージャーの作成やプレゼンテーションを実施した。

② 誘致プロモーション活動

・海外会議主催者等の視察支援

平成27年6月29日~7月2日	英国系医学会系主催者	1名
平成27年7月7日~7月9日	英国系エネルギー系協会主催者	1名
平成28年3月13日~3月18日	ベルギー系法律系協会主催者	2名

・開催決定への支援活動

東京での開催を前提として立候補した大型国際会議について、ビッドペーパー(立候補書類)等の誘致ツール作成支援のほか、海外での総会等において東京での開催をアピールした。

③ 学術系国際会議誘致促進支援<東京都補助金事業>

東京都内の主要大学における医学部・工学部と連携し、誘致案件の掘り起しを行った。連携先の学部・研究所の教授や研究者に向け、実務サポート体制を構築し、誘致活動のノウハウや財団支援内容に関するセミナーを実施した。さらに、連携先の教授・研究者に対し、立候補から開催地決定までの誘致活動に関する実務支援(立候補書類の制作補助、海外PRブース出展等)を行った。

連携大学

- ・首都大学東京
- ・早稲田大学理工学術院
- ・東京医科歯科大学

イ 国際会議開催支援

① 参加促進への支援活動〈東京都受託事業〉

東京開催が決定した大型会議の前回大会において、東京ブースを設置し、パンフレット等を配布することにより東京の魅力をアピールした。

- ・第32回 ISQua 国際学術総会 (ISQua)
期間：平成27年10月4日～7日
場所：Qatar National Convention Centre (QNCC) (ドーハ・カタール)
- ・第45回国際禁制学会年次総会 (ICS)
期間：平成27年10月7日～9日
場所：Palais des Congrès (モントリオール・カナダ)

② 開催運営への支援活動

東京開催が決定した国際会議に、宣伝ツールの提供、観光や文化体験プログラム等に関する情報の提供、会議運営に関する情報の提供などを行った。

③ 国際会議開催支援プログラム〈東京都受託事業〉

東京の魅力をPRし参加者の満足度を高め、再来訪につなげるとともに、口コミ効果など、参加者を通じた観光プロモーションによるインバウンドの促進を図るため、東京で開催された以下の大規模国際会議に対し、ホスピタリティチームの派遣、フラッグ等の掲出、都内観光ツアーの実施や日本文化体験プログラム、テクニカルツアーの提供等を行った。

- ・第9回 UIC 世界高速鉄道会議 (UIC)
期間：平成27年7月7日～10日
会場：東京国際フォーラムほか
- ・第25回アジア太平洋肝臓病学会年次総会 (APASL)
期間：平成28年2月20日～24日
会場：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール

ウ 国際会議誘致・開催資金助成等事業〈東京都補助金事業〉

① 国際会議誘致支援事業

東京都内で国際会議の開催を予定する2団体に対し、誘致活動経費の一部を助成する誘致助成金を交付した。

② 国際会議開催助成事業

コンベンション開催助成の交付対象会議として、19件の国際会議が登録され、13件の開催地が東京に決定した。

- ・第29回国際地図学会議 (1,300名)
- ・第18回世界吹奏楽協会 (WASBE) 世界大会 (1,000名) 等

エ コンベンション統計事業

UIA/ICCA/日本政府観光局 (JNTO) 等が公表するコンベンション統計に用いるデータとして提供するため、都内で開催されたコンベンションについて、会議名や主催者名、参加者数等の調査を行った。

(3) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業 <一部東京都受託・補助金事業>

ア 海外トレードショーへの出展

- ・上海 MICE 見本市 (IT & CM China) (平成 27 年 4 月 15 日～16 日)
- ・フランクフルト MICE 見本市 (IMEX) (平成 27 年 5 月 19 日～21 日)
- ・ラスベガス MICE 見本市 (IMEX America) (平成 27 年 10 月 13 日～15 日)
※民間事業者 3 者と共に出展
- ・バルセロナ MICE 見本市 (ibtm world) (平成 27 年 11 月 17 日～19 日)

イ 企業系ビジネスイベント誘致支援事業 <東京都補助金事業>

東京での開催を検討している 9 件の企業系ビジネスイベント主催者に対し、視察時の渡航費や滞在費を補助するとともに、視察団のニーズを踏まえた視察のコース設定や都内サプライヤーの紹介などを行った。

- ・金融コンサル会社インセンティブツアー (7,000 名予定・グローバル)
- ・旅行関連会社ミーティング (1,300 名予定・グローバル) 等

ウ 企業系ビジネスイベント開催支援事業 <東京都補助金事業>

東京での開催を検討している 18 件の企業系ビジネスイベント主催者に対し、ギブアウェイやパーティーへのアトラクション派遣、空港等での出迎えの提供を提案し、実施した。

- ・保険会社インセンティブツアー (約 1,100 名・インドネシア)
- ・保険会社インセンティブツアー (約 1,200 名・タイ) 等

(4) ビジネスイベント情報発信 <一部東京都補助金事業>

ア ビジネスイベント関連情報の発信

国内外の主催者・プランナーに対して、東京でのコンベンション開催に必要な情報を提供するため、ホームページの定期更新を行った。また、海外のプランナーやプレスに対して「eNewsletter」を年 6 回配信するとともに、プレスリリースも行った。

イ ミーティング・プランナーズガイドの作成

海外の主催者・プランナー向けに、東京でのコンベンション開催に必要な施設情報等を網羅した冊子を 1500 部、USB を 500 個作成し、海外トレードショー等で配布するとともに財団ウェブサイトにて公開した。

ウ 企業系ビジネスイベント販促ブックレットの作成 <東京都補助金事業>

企業系ビジネスイベントの目的地としての東京を PR し、ビジネスイベントの誘致を促進することを目的として、東京の魅力を紹介するブックレットを 1000 部作成し、海外トレードショーで配布したほか、ミーティングプランナー・主催企業や関係事業者に広く配布した。

エ 広告掲載による PR 強化 <東京都補助金事業>

企業系ビジネスイベントの目的地としての東京を PR する広告デザインを制作し、以下のビジネスイベント専門誌やトレードショーのバイヤー向けウェブサイトに掲載、開催地としての東京の魅力を PR した。

- ・IMEX Frankfurt 平成 27 年 5 月 (1 ヶ月間)
- ・IMEX America 平成 27 年 10 月 (1 ヶ月間)
- ・Cei 5 月号、9 月号
- ・Mix 8・7 月号、2・3 月号
- ・TTG MICE 8 月号、2・3 月号

オ 国内企業向け開催支援セミナー <東京都補助金事業>

都内に立地する日系グローバル企業や外資系企業のイベント担当者に対して、東京で企業系ビジネスイベントを開催する際のサポート体制やメリットを周知するセミナーを2回開催した。

カ MICE ファムトリップ

開催候補地の提案等を行う立場にあるコア PCO（国際会議）やミーティング・プランナー（企業系会議、報奨旅行）に対するファムトリップを行い、MICE 開催都市東京の魅力を伝えるとともに、都内関連事業者とのビジネスマッチングを行うことで、東京での MICE 開催を促進した。

- ・コア PCO（国際会議）：5 社 8 名
- ・ミーティング・プランナー（企業系会議、報奨旅行）：12 社 21 名

(5) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築 <東京都補助金事業>

海外他都市との熾烈な国際競争を勝ち抜き、国際会議誘致を拡大するため、誘致に積極的に取り組む海外主要都市のコンベンション・ビューローで構成される国際的なアライアンス組織「ベストシティーズ・グローバルアライアンス」（正式表記「BestCities Global Alliance」）に加盟し、各種情報収集や東京のプロモーションを行った。

(6) ユニークベニューの利用促進プログラムの提供 <東京都受託事業>

都内でユニークベニューを利用したレセプション等を行った以下 1 件のビジネスイベント主催者に対して、設営費等の補助、会場側との諸調整などの支援を行った。

- ・米国情報通信系企業イベント
会期：平成27年10月27日～10月30日

(7) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業 <東京都受託事業>

東京都が指定した以下の東京ビジネスイベント先進エリアにおいて、ビジネスイベント開催及び誘致能力を向上させるため、国際会議主催者等のニーズを踏まえた助言、提案等の支援を行った。

- ・大手町・丸の内・有楽町地区
- ・港区 六本木・赤坂・麻布エリア
- ・臨海副都心

(8) 東京における MICE のセールスのあり方に関する調査

東京の MICE を効果的にプロモーションするために必要なセールス内容を検討するため、他都市の先進事例やマーケティング調査結果等を踏まえ、東京ならではのセールスのあり方について調査を行った。

(9) MICE 専門人材育成事業 <東京都負担金事業>

MICE ビジネスのグローバルスタンダードを身につけた専門人材を育成するため、企業系ビジネスイベント及び国際会議に関する専門人材育成講座を有料で実施した。

- ・前期：国際会議（全 6 回）
日程：平成 27 年 8 月 19 日～9 月 17 日
テーマ：国際会議の誘致と開催～成功させるヒント～
受講者数：28 名
- ・後期：企業ミーティング&インセンティブ（全 6 回）

日程 : 平成 27 年 12 月 2 日～平成 28 年 1 月 27 日
 テーマ : インセンティブ受入のためのおもてなし向上～2020 年オリンピック開催に向けて～
 受講者数 : 29 名

3 地域の観光振興に関する事業

(1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興

ア 地域振興助成 <東京都補助金事業>

地域観光団体が実施する新たな観光魅力の発掘、観光資源開発など、観光振興に寄与する事業に対して、16 件の助成を行った。

申請団体	事業名
大多摩観光連盟	多摩げた食の祭典・大多摩 B 級グルメ
町田観光コンベンション協会	ホームページ多言語化事業
国立市観光まちづくり協会	国立市国際観光マップ作成
東京諸島観光連盟	旅まつり名古屋 2016 出展事業
渋谷区観光協会	シンポジウムの開催
大多摩観光連盟 奥多摩観光協会	ふるさと祭り東京 2016 出展事業
府中観光協会	ふるさと祭り東京 2016 出展事業
大田観光協会	多摩川の歴史遺産モータースポーツ発祥の地「多摩川スピードウェイ」回顧展
新島観光協会 式根島観光協会 神津島観光協会	3 島プロジェクト 観光パネル製作
狛江市観光協会	狛江イルミネーション
日野市観光協会	外国人に向けた日野の魅力発信パンフレット作成事業
中央区観光協会	東京マラソン EXP02016 出展事業
神津島観光協会	神津島のゆるきゃら「かんむりん」を用いた PR イベント@ふるさと祭り東京
式根島観光協会	式根島観光パネル製作
立川観光協会	立川アニメーション事業 5 周年イベント
文京区観光協会	外国人観光客向け文京区まちあるきアプリ「漫步」告知宣材の作成

イ 東京トラベルマートの開催

東京商工会議所との共催により、旅行商品の造成や最新観光情報の提供を目的とした商談会「東京トラベルマート」を開催した。

開催日 : 平成 27 年 8 月 26 日 (水)

会場 : 東京商工会議所 (丸の内二丁目ビル) 3 階会議室 5・6・7

商談会 : 13:00～17:05 懇親会 17:15～18:30

出展団体 : 18 ブース (旅行会社)

参加団体：43社（サプライヤー企業 35社、自治体・観光協会等 8団体）

ウ 観光情報交換会の開催

旅行会社による旅行商品の造成やメディアの取材を目的として、観光協会や自治体観光課、観光関連団体との観光情報交換会を開催した。

開催日：平成28年2月17日（水）

会場：東京タワーホール（東京タワーB1）

特別企画：12:30～13:30 多摩地域観光説明会

① 「多摩観光のニューパラダイム」～新たな観光資源発掘と地域連携へ

講演者 KT プラニングオフィス代表 徳尾和彦 氏

② 「御岳山の天空芸者ナイト」

講演者 御岳山観光協会会長 馬場喜彦 氏

商談会：13:30～16:30 懇親会 16:45～17:30

出展団体（自治体・観光協会等）：34団体 80名

参加会社：47社 65名（旅行会社 24社 33名、メディア 23社 32名）

エ 着地型観光研究会の開催

各観光協会が着地型旅行商品を開発する際に抱える課題や問題点を念頭に置き、専門家等の講演をもとに着地型旅行商品の開発事例や観光振興の新しい取り組み方等を勉強する場として2回開催した。

<第1回>

開催日：平成27年6月25日（木）

会場：東京観光財団5階会議室

内容：講演1 「観光ビッグデータの地域観光振興への活用」

～観光客の動態を捉える取り組みについて～

講師：国立情報学研究所コンテンツ科学系 准教授 相原健郎 氏

講演2 「位置情報ビッグデータ活用の可能性について」

講師 株式会社ゼンリンデータコム ネットサービス本部

Web-GIS 事業部 マネージャー 足立龍太郎 氏

参加人数：43社 58名

<第2回>

開催日：平成27年9月16日（水）

会場：東京観光財団5階会議室

内容：講演 「地域のオリジナルストーリーを活用した観光戦略」

～地域ならではのストーリー作りについて～

講師 日本観光振興協会常務理事・総合調査研究所所長 丁野朗 氏

参加人数：27社 37名

オ 観光団体等との連携

① 日本観光振興協会

地方自治体や地域観光団体、観光関連企業等で構成される公益社団法人日本観光振興協

会の各種会合に参加し、情報交換を行うとともに、観光関係功労者表彰の推薦を行った。

- 日本観光振興協会：総会 平成 27 年 6 月 11 日
- 関東支部：評議員会 平成 27 年 4 月 21 日、総会 平成 27 年 6 月 2 日、
- 関東ブロック広域観光振興事業推進協議会 平成 27 年 4 月 21 日、7 月 28 日
- 関東甲信越静観光協会・連盟協議会：総会 平成 27 年 4 月 21 日、委員会 7 月 9 日～10 日（静岡県）、10 月 7 日～8 日（長野県）、平成 28 年 2 月 19 日（東京都墨田区）
- 「ふるさと観光展 IN 仙台駅」出展 平成 27 年 9 月 8 日～10 日
15 団体資料等参加

② 地域団体との連携

地域観光団体等に対し情報提供を行うとともに、観光・地域振興について情報交換を行った。

- 「ふるさと祭り東京 2016」（平成 28 年 1 月 8 日～17 日）に大多摩観光連盟・奥多摩観光協会、府中観光協会及び東京都商工会連合会が出展し、そのサポートを行った。
- 「旅まつり名古屋 2016」（平成 28 年 3 月 19 日～20 日）に東京諸島観光連盟と連携して出展し、広域的な観光案内を行った。
- 「ふるさと観光展 IN 仙台駅」（平成 27 年 9 月 8 日～10 日）に墨田区観光協会及び賛助会員企業と連携して出展し、観光 PR ステージへの出演及び広域的な観光案内を行った。
- 大多摩観光振興セミナー

開催日：平成 28 年 3 月 28 日（月）

会場：青梅市民会館 2 階 第 2・第 3 会議室

内容：「大多摩地域の観光振興 各事例報告」

檜原村観光協会 事務局長 小林和宏 氏

多摩川川下り事業者組合 事務局長 柴田大吾 氏

基調講演「地域特性を活かした観光振興について」

～雪国観光圏の取組について～

講師 一般社団法人 雪国観光圏 代表理事 井口智裕 氏

参加人数：21 社 32 名

③ 共催・協賛

・音楽祭の協賛

「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭 2015」

日時：平成 27 年 5 月 3 日～5 月 5 日 場所：東京国際フォーラム

主催：東京国際フォーラム

・スポーツイベントへの協賛

「2015 WERIDE 三宅島 エンデューロレース」

日時：平成 27 年 11 月 14 日～11 月 15 日 場所：三宅島

主催：三宅島スポーツ振興会、三宅村

④ 後援

地域の観光協会等が主催する観光イベントや行事に対し、東京観光財団の後援名義を付して協力した。

<ul style="list-style-type: none"> ○ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 「熱狂の日」音楽祭 2015 ○第4回「多摩げた食の祭典・大多摩 B 級グルメ」 ○第14回ドリーム夜さ来い祭り ○平成26年度第46回文京つつじまつり ○平成26年度第31回文京あじさいまつり ○平成26年度第30回文京朝顔・ほおずき市 ○平成26年度第37回文京菊まつり ○平成26年度第59回文京梅まつり ○平成27年度第44回文京さくらまつり ○GTF 東京みっけ♪2015 ○NHK-BS プレミアムドラマ 『ある日、アヒルバス』ロケ撮影見学イベント ○ツーリズム EXPO ジャパン 2015 ○わたしの東京諸島 ○第1回 Tokyo Metropolitan Mountain MTG ○Pioneers Asia 	<ul style="list-style-type: none"> ○2015 新宿エイサーまつり ○第54回文京区観光写真コンクール ○Fete de la Musique au Japon 2015 東京・音楽の祭日 ○東京マラソン 2016 ○国際都市おおたフェスティバル in「空の日」羽田 ○「秋フェス」2015 春 ○「秋フェス」2015 秋 ○東京ミチテラス 2015 ○ジャパンショッピングフェスティバル ○旅いくキッズフェスタ in 昭和記念公園 ○アマチュア無線フェスティバル ハムフェア 2015 ○第9回 UIC 世界高速鉄道会議 ○2016 ミス日本酒 (Miss SAKE) 東京 ○Tokyo Shopping Week 2016 ○新宿区における 訪日外国人観光購買促進実証実験
---	---

⑤ 委員会等への参加

財団役員等が観光関連団体等の委員等へ就任し、活動に参画した。

<ul style="list-style-type: none"> ○2018 年第11回国際水協会 (IWA) 世界会 議・展示会開催準備委員会 ○観光立国推進協議会 ○日本観光振興協会通常総会 ○日本経営協会 ○東京外かく環状道路 (関越道～湾岸線) 整 備促進連絡会議 ○へブンアーティスト運営実行委員会 ○アジア舞台芸術祭実行委員会 ○公益財団法人東京都公園協会評議員会 ○一般社団法人墨田区観光協会理事会 ○中央区観光検定委員会 ○東京都立多摩総合医療センター治験審査 委員会 ○東京都地価調査委員会 ○外国人対応支援マニュアル企画作成活用 委員会 ○日本観光振興協会関東支部評議員会・関東 ブロック広域観光事業推進協議会・関東甲 信越静観光協会・連盟協議会委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○隅田川ルネサンス推進協議会 ○一般財団法人東京マラソン財団理事会 ○一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ ビューロー理事会 ○Visit Zoo Tokyo 推進委員会 ○新宿南口東京観光情報センターサービス提供事 業者審査会 ○文の京観光促進タウンガイドミーティング ○東京観光タクシー推進協議会 ○島じまん 2016 実行委員会 ○ツーリズム EXPO ジャパン 2015 営業展示部会 ○多摩の魅力発信プロジェクトに係る企画運営業 務委託業者選定審査会 ○東京諸島観光連携推進協議会 ○大田区観光推進連絡協議会 ○東京観光タクシー推進協議会 ○TOKYO ホテル実行委員会 ○大田区観光推進連絡協議会 ○文京区アカデミー推進協議会 ○文の京観光促進タウンガイドミーティング
--	--

(2) 東京シティガイド検定

国内・海外からの訪都旅行者に対して東京の魅力を紹介できる人材の育成を目的として、「東京シティガイド検定」を実施した。

ア 第13回東京シティガイド検定試験

実施日 平成27年11月29日
 会場 明治学院大学白金キャンパス
 受験者数 1,320名 (実受験者数 1,206名)
 合格者数 861名
 合格率 71.4%

イ 試験対策セミナー

実施日 平成27年10月25日及び11月8日
 会場 東京しごとセンター 講堂
 参加人数 計228名

ウ 検定委員会

第1回 平成27年7月14日
 第2回 平成27年10月29日
 第3回 平成28年2月23日

(3) 東京ロケーションボックスの運営<東京都受託事業>

都内における映画、ドラマ等撮影に係る各種の相談窓口として、「東京ロケーションボックス」を運営した。制作会社等に対し、ロケ地情報や撮影許可に関する施設との調整、警察・消防への許可申請手続きの指導・助言などの支援を実施し、年間の問い合わせ件数は2,394件で、うち支援件数は694件だった。

また、支援作品を活用したパネル展や展示会への出展等の各種PR事業を行った。

ア 対応実績

	映画		テレビ番組			Web 映像	スチ ール	ミュー ジック ビデオ	その他 のジャ ンル	撮影 以外	合計	
	劇場 映画	その他 映画	TV ドラ マ	その他 TV番 組	CM							
問合件数	265	110	401	631	265	78	147	121	162	214	2,394	
支援件数	184	52	264	81	26	8	25	19	32	3	694	
許 可 件 数	都立	42	17	66	4	5	0	4	4	6	1	157
	その他	5	7	2	8	1	1	2	0	3	3	32
	計	47	24	68	20	6	1	6	4	9	4	189

イ PR事業

【主催】

○支援作品展「ドラマチックTOKYO～映画ドラマで東京を遊ぼう」

実施日：平成27年8月19日～8月25日

会場：東京都庁45階南展望室

○アートワーク台座パネル展（2回開催）

実施日：平成27年8月31日～9月7日

平成28年2月12日～2月18日

会場：都庁第一本庁舎1階アートワーク台座

【出展】

○「ジャパンコンテンツショーケース」

実施日：平成27年10月20日～22日

会場：ホテルグランパシフィックLeDaiBa

○「全国ロケ地フェア2016」

実施日：平成28年2月8日

会場：ベルサール西新宿

ウ 学生等の受け入れ

○京都府立乙訓高校

実施日：平成27年11月19日

内容：企業訪問学習として東京ロケーションボックス事業の説明

○香港科技大学

実施日：平成28年1月21日

内容：東京のフィルムコミッションに関する講義

エ 啓蒙啓発

○フィルムコミッション（FC）活用説明会

実施日：平成28年1月22日

会場：東京観光財団 会議室

内容：映像制作者へのフィルムコミッション活用促進セミナー

協力：警視庁

(4) 被災地応援ツアー事業 <東京都受託事業>

東日本大震災等により被害を受けた福島県と平成25年台風26号により被害を受けた伊豆大島への旅行を促進し地域経済復興を支援するため、都内旅行事業者と連携して、旅行代金の割引事業（福島・被災地応援ツアー、伊豆大島・復興応援ツアー）を実施した。

ア 福島・被災地応援ツアー

事業説明会：2月16日（第1回）、8月6日（第2回）

参加旅行会社数：延べ344社

事業概要：旅行会社で購入する東京都から福島県への宿泊旅行と日帰り旅行に対し、宿泊旅行1泊3,000円、日帰り旅行1人1,500円の割引を行う。

実施期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

実績：宿泊旅行18,160泊、日帰り旅行9,488人

旅行会社数：173社（東京都内の旅行会社）

イ 伊豆大島・復興応援ツアー

事業説明会：3月6日（第1回）、8月6日（第2回）

参加旅行会社数：延べ381社

事業概要：旅行会社で購入する伊豆大島への宿泊旅行に対し、船利用1泊6,000円・2泊9,000円、飛行機利用1泊8,000円・2泊11,000円の割引を行う。

実施期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

実績：船利用10,637人・12,621泊、飛行機利用421人・558泊

旅行会社数：88社（東京都、千葉県、神奈川県、静岡県の旅行会社）

(5) 観光資源商品化支援事業＜観光振興基金事業＞

都内各地域の観光資源のうち、未だに旅行商品化されていない観光資源に関する企画を募集し、多摩地域1件（檜原村観光協会）、島しょ地域1件（八丈島観光協会）の企画について、旅行商品の造成・販売等の支援を実施した。企画の内容は以下の通り。

ア 多摩地域

国内外の観光客を対象に、地域のお年寄りに教わりながら、農作業体験や、こんにゃく芋からのこんにゃく作り、うどん打ちなど、昔ながらの日本の素朴な料理を一緒に作る企画。

イ 島しょ地域

主に国内観光客を対象に、「スターウォッチング」「夕景」「草花」等の優れた自然景観を観光素材として自由に周遊するための時間制観光タクシーを付けた宿泊プラン企画。

(6) 受入環境インフラの整備＜東京都受託事業＞

ア 観光インフラ整備支援事業

① 区市町村観光インフラ整備支援

事業概要 多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、区市町村が主体的に行う外国人旅行者向けの受入環境の整備に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 1億円（1区市町村当たり）

② 観光施設国際化支援

事業概要 多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、都内民間観光施設が主体的に行う外国人旅行者向けの受入環境の整備に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 10,000千円（1施設当たり）

③ 交通機関・観光施設共通ICカードの提供

複数の公共交通機関と観光施設等で相互利用可能なICカードの開発に向けた調査を実施した。

④ 宿泊施設無線LAN設置支援

事業概要 外国人旅行者が気軽に情報を受発信できる環境を整備するため、宿泊施設が行うWi-Fi整備に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内（1か所当たり15,000円以内）

補助限度額 750千円（1施設当たり）、1施設当たり最大50か所まで

⑤ 宿泊施設バリアフリー化支援

事業概要 旅行者が安全かつ安心して利用できるよう、バリアフリー化に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額	施設や設備のバリアフリー化整備（改修等）	500万円
	ユニバーサルデザインルームの改修	700万円
	コンサルティング	25万円

イ 東京ひとり歩きサイン整備支援

事業概要 区市町村が行う多言語で表記した観光案内標識の整備、及び既存標識の更新に対して、経費の補助を行った。

補助額 標準化指針の普及地域※¹ 新規設置 補助対象経費の2分の1
盤面更新 補助対象経費の3分の2
重点整備エリア※² 補助対象経費の3分の2

※¹ 標準化指針の普及地域とは、より多くの人々の多様なニーズに対応することが求められる地域のうち、これまで案内標識の整備が進まなかった地域、観光客が多く訪れている地域及びこれから増加が見込まれる地域

※² 重点整備エリアとは、外国人旅行者が多く訪れる10地域(新宿・大久保、銀座、浅草、渋谷、東京駅周辺・丸の内・日本橋、秋葉原、上野、原宿・表参道・青山、お台場及び六本木・赤坂)及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会会場周辺地域

ウ デジタルサイネージを活用した観光情報の提供

事業概要 外国人旅行者の利便性向上を目的に、街なかで観光情報などを多言語で提供する、高機能型観光案内標識「DISCOVER & TOKYO」のサービスを開始した。

利用開始日 平成28年3月25日

設置箇所 4か所(新宿エリア、上野エリア 各2か所)

提供情報 観光スポット、宿泊施設、飲食店、ATM など(各施設までの道順を表示)

対応言語 日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語

エ 外国人旅行者に対するWi-Fi利用環境整備支援

事業概要 外国人旅行者への情報提供機能の向上を図るため、観光インフラ重点整備エリア内の区道において、観光案内標識周辺へのWi-Fi整備に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の3分の2以内

4 観光情報の発信に関する事業

(1) 東京の観光情報発信に関する事業

ア ウェブサイトによる情報発信<東京都補助金事業>

国内外の旅行客等を対象に、9言語10種類で東京の情報を継続的に発信した。さらに、英語サイトは、画面比率やサイズに応じて表示を最適化する「レスポンシブウェブデザイン」を適用した。

また、バナー広告を掲載し、広告収入を確保した。

言語	アクセス数 (H27.4月～H28.3月)
総合 TOP	140,823
日本語	28,096,851
英語	4,855,900
中国語（簡体字）	793,087
中国語（繁体字）	9,100,146
韓国語	1,016,502
ドイツ語	205,459
イタリア語	242,708
スペイン語	255,964
フランス語	295,817
タイ語	1,045,866
モバイル日本語	4,542,443
モバイル英語	171,557
モバイル中国語（繁体字）	753,140
その他	41,431
合計	51,557,694

*アクセス数はページビューでカウント

*「その他」は、アクセス解析ソフトにより言語の区別がつかなかったページビューである。

イ SNSによる情報発信 <東京都補助金事業>

コミュニケーションツールや広報宣伝媒体として、その有用性が高く評価されている SNS を利用した広報宣伝活動（Tokyo Fan Club）を運営しており、Facebook や Weibo 等において、東京都内各地の旬の観光情報を発信した。

媒体	言語	読者数 (H28.3月末)
Facebook	日本語	4,247
	英語	150,402
	中国語（繁体字）	111,134
	韓国語	10,961
	ドイツ語	4,346
	イタリア語	16,764
	スペイン語	23,004
	フランス語	14,160
	タイ語	44,575
	インドネシア語	4,256
	ベトナム語	2,832
Weibo	中国語（簡体字）	16,180
合計		402,861

*読者数は「いいね！」をしている数をカウント

ウ ウェルカムカードの製作 <東京都補助金事業>

ウェルカムカード（ハンディガイド・ハンディマップ）の内容を企画・更新し、新たにタイ語で作成するとともに、東京観光情報センターをはじめ、東京都観光案内窓口等を通じて旅行者に提供した。さらに、ハンディガイドのアプリケーション開発・運用を行うとともに、ムスリム対応のレストランやモスク情報を主とした旅行者向け冊子の英語版を製作し、配布した。また、広告掲載により、収入を確保した。

エ 東京観光情報センター等の管理運営

① 東京観光情報センター<東京都受託事業>

国内外の旅行者向けに東京の観光情報を提供するため、従来の東京都庁、羽田空港、京成上野駅の3箇所を運営し、新宿駅南口観光案内所の開設準備を行った。また、東京都観光案内窓口（都内約150箇所）の管理運営も行った。

- ・場 所 都庁本部（都庁第一本庁舎1階）
羽田空港支所（羽田空港国際線旅客ターミナルビル2階、24時間化）
京成上野支所（京成上野駅改札口前）
新宿駅南口支所（新宿バスタ3階、平成28年4月4日開所）
- ・来場者数 合計 763,195人（うち、外国人548,637人/72%）
- ・問合せ件数 合計 456,107件（うち、外国人383,067件/84%）

② 全国観光PRコーナー<東京都受託事業>

全国各地域の魅力をPRするため、観光パンフレットの配布やPRイベントの開催、特産品の販売等を行った。

- ・場 所 都庁本部（都庁第一本庁舎2階）
- ・来場者数 合計 210,860人（うち、外国人79,912人/38%）
- ・問合せ件数 合計 23,379件（うち、外国人16,086人/69%）
- ・イベントコーナー実施件数 54自治体

オ 観光ボランティアの管理運営<東京都受託事業>

都庁案内ツアーや観光ガイドサービス等を実施している東京都観光ボランティアの管理運営を行った。

また、外国人旅行者が多く訪れる新宿西口・上野エリアにおいて、観光ボランティアによる「街なか観光案内」を実施した。

- ・街なか観光案内対応件数：新宿西口エリア 11,316件、上野エリア 15,481件

カ おもてなし親善大使育成塾<東京都受託事業>

中高生を対象に、オリンピック・パラリンピック開催に向けた夢を育てるとともに、外国人旅行者への対応方法や東京ならではの「おもてなし」の手法を学ぶ「おもてなし親善大使育成塾」を実施するとともに、おもてなし親善大使（修了生）を対象としたフォローアップ研修会を実施した。

- ・おもてなし親善大使育成塾 任命者数 225名

キ 東京マラソン応援観光マップの作成、臨時観光案内所の設置・運営

① 東京マラソン応援観光マップの作成 <東京都受託事業>

東京マラソンコース、応援ポイント、周辺の観光スポット、イベント情報等を盛り込んだマップを作成・配布した。

- 日本語版 76,000部

英語版 15,000 部

② 臨時観光案内所の設置・運営 <東京都受託事業>

東京マラソン開催に合わせて来訪した国内外の旅行者に東京の魅力を体験してもらうため、東京マラソン EXP02016 会場（東京ビッグサイト内 2/25～27）と東京大マラソン祭り 2016 会場（有明イーストプロムナード内 2/28）に臨時の観光案内所を設置し、都内観光に関する情報提供を行った。

ク 外国語メニュー作成支援サイトの構築 <東京都受託事業>

都内飲食店等における外国人旅行客の受入環境整備を図るため、多言語メニュー作成支援サイト「EAT 東京」を構築・運用した。

- ・サイト利用店舗数 2, 162 店舗（H28.3 月末時点）
- ・飲食店等を対象にしたメニュー作成研修会 参加者数 102 名

ケ 東京大マラソン祭りフォトコンテストの実施

東京マラソン（平成 28 年 2 月 28 日）にあわせ、東京都との共催により、「東京大マラソン祭り 2016 フォトコンテスト」を実施した。

作品応募総数 201 点

入賞作品 金賞 2 点、銀賞 2 点、銅賞 3 点 APA 特別賞 1 点
入選 8 点 合計 16 点

（※作品展 東京観光情報センター都庁本部にて平成 28 年 4 月 14 日から 27 日まで開催）

(2) TCVB 活動の広報に関する事業

インバウンド誘致やビジネスイベントの誘致促進等に係る TCVB の活動を海外に対して効果的に PR するため、日本語版及び英語版のウェブサイトを運営した。

5 会報発行事業

(1) 会報等の発行

ア 「TCVB NEWS」の発行

新たなコーナーの設置やタイムリーな情報収集に努めることで、読者の期待に応える紙面づくりを行った。

- ・回数、部数 4 回（季刊）、毎 850 部
- ・体 裁 A4 サイズ 4 ページ、2 色（※春号のみ 6 ページ）
- ・主な配付先 賛助会員、マスコミ、関係機関

イ TCVB メール速報の配信

速報性を活かした情報提供サービスの充実を目指し、会員及び関係機関へ週 1～2 回のペースで配信した。

- ・配信回数 50 回

II 収益事業

1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

都内4ヶ所（新宿、有楽町、池袋、立川）及び島しょ地域（9町村）において、東京都から受託した東京都手数料徴収業務を実施した。また、新宿郵便局長から受託した収入印紙の売りさばき業務を新宿旅券課内において行った。

※収入印紙年間販売枚数 303,000 件（前年度実績：298,100 件）

2 ガイドマップ等の販売事業

(1) 「YES!TOKYO」グッズの販売

東京教育観光マップ、東京観光情報センター都庁本部等において「YES!TOKYO」グッズ（ピンバッジ、ステッカー、手ぬぐい等）、絵はがき、ぐるっとパス、その他書籍などを販売した。

3 東京シティガイド検定 公式テキスト・過去問題等の販売事業

(1) 公式テキスト「新・大江戸東京の歩き方」

都内各書店、東京観光財団ホームページ、東京観光情報センター都庁本部等において、公式テキスト「新・大江戸東京の歩き方」を販売した。

販売冊数：1,395 冊（前年度：1,182 冊）

(2) 過去問題

東京観光財団ホームページ及び東京観光情報センター都庁本部において、過去問題を販売した。

販売部数：2,446 部（前年度：1,832 部）

Ⅲ その他事業

1 委員会の開催

(1) タウンアメニティ委員会の実施

東京のまちや施設等の魅力を様々なテーマに沿って検討し、観光振興・地域振興の観点から新たな魅力づくりや受入体制に関する講演会を2回開催した（うち1回は視察会を同時開催）。

第1回 平成27年7月23日 第2回 平成28年3月30日（水）（視察会）

(2) アジアセールス委員会の実施

アジアからのインバウンドに焦点を当て、賛助会員による情報提供や財団の事業内容についての報告など、情報交換を目的として3回開催した。

第1回 平成27年8月20日 第2回 平成27年11月18日
第3回 平成28年3月17日

(3) コンベンション委員会の実施

コンベンション誘致及び開催のための手法を総合的に検討することを目的として、最新のコンベンション施設である「コンgresクエア日本橋」の視察等を行ったほか、フランス観光開発機構のインセンティブ誘致事例や、日本科学未来館のMICE活用事例などを紹介する講演会を3回開催した。

第1回 平成27年9月11日 第2回 平成27年12月16日
第3回 平成28年2月4日

2 会員情報交換会の開催

全賛助会員を対象に、観光関連事業者の交流を目的とした会員情報交換会「交流の集い」を開催し、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の概要について」及び「夢があるから強くなる」をテーマとした講演会を開催し、会員同士の交流を目的とした懇親会を開催した。

開催日 平成 28 年 2 月 9 日 参加企業 153 社